

「ごみ減量化に向けて」アンケート集計結果

■発送枚数・・・2,500通

■回収枚数・・・1,089通（回収率43.56%）

Q1. 回答者

1 世帯主	357 (32.8%)
2 配偶者	635 (58.3%)
3 子	80 (7.3%)
4 その他	16 (1.5%)
5 無回答	1 (0.1%)

Q2. 性別

1 男性	299 (27.4%)
2 女性	789 (72.5%)
3 無回答	1 (0.1%)

Q3. 年齢

1 20歳代	57 (5.2%)
2 30歳代	163 (15.0%)
3 40歳代	178 (16.3%)
4 50歳代	202 (18.6%)
5 60歳代	297 (27.3%)
6 70歳代	145 (13.3%)
7 80歳代以上	46 (4.2%)
8 無回答	1 (0.1%)

Q4. 世帯の主な収入

1 自営業所得	75 (6.6%)
2 給与所得	541 (47.7%)
3 パート・アルバイト収入	37 (3.3%)
4 年金収入	449 (39.6%)
5 その他	28 (2.5%)
6 無回答	4 (0.3%)

Q5. 住所

自治連合会の地区別に分別する。

北：高山町、ひかりが丘、鹿畑町、鹿ノ台、美鹿の台、上町、真弓、真弓南、北大和、上町台、あすか野、あすか台、白庭台

西：南田原町、西白庭台、北田原町、小明町、新生駒台、松美台、俵口町、喜里が丘、東松ヶ丘、西松ヶ丘、光陽台、生駒台北、生駒台南

中：桜ヶ丘、谷田町、辻町、山崎町、北新町、東新町、元町、本町、山崎新町、仲之町、門前町、東旭ヶ丘、西旭ヶ丘、新旭ヶ丘、軽井沢町、菜畑町

東：東生駒、東生駒月見町、東菜畑、中菜畑、西菜畑町、緑ヶ丘

南：壱分町、さつき台、南山手台、有里町、小瀬町、萩原町、青山台、藤尾町、西畑町、鬼取町、小倉寺町、大門町、小平尾町、萩の台、東山町

1 北地区	342 (31.4%)
2 西地区	223 (20.5%)
3 中地区	171 (15.7%)
4 東地区	120 (11.0%)
5 南地区	217 (19.9%)
6 無回答	16 (1.5%)

6. 同居者数

1 1人	58 (5.3%)
2 2人	393 (36.1%)
3 3人	285 (26.2%)
4 4人	227 (20.9%)
5 5人	81 (7.4%)
6 6人以上	33 (3.0%)
7 無回答	12 (1.1%)

Q7. 世帯員が参加している団体 (いくつでも)

1 自治会	855 (65.5%)
2 子ども会	45 (3.5%)
3 老人クラブ	118 (9.0%)
4 婦人会	24 (1.8%)
5 その他	74 (5.7%)
6 特になし	177 (13.6%)
7 無回答	12 (0.9%)

Q8. 環境・ごみ問題に関心はありますか。

1 大いに関心がある。	434 (39.9%)
2 少し関心がある。	581 (53.4%)
3 あまり関心がない。	61 (5.6%)
4 まったく関心がない。	7 (0.6%)
5 無回答	6 (0.5%)

Q9. 環境・ごみ問題についての情報・知識を得る方法として、やっていることがあればお答えください。

1 環境・ごみ問題に関する新聞記事やテレビ番組を見る。	697 (37.4%)
2 市の広報紙やリーフレットなどを見る。	847 (45.4%)
3 環境・ごみ問題に講演会やセミナーに参加したことがある。	62 (3.3%)
4 ごみ・リサイクル施設の見学に参加したことがある。	135 (7.2%)
5 その他	26 (1.4%)
6 何もやっていない。	94 (5.0%)
7 無回答	6 (0.3%)

Q10. あなたは、今後、以下にあげるようなことを行おうと思いますか。当てはまるものに○をつけてください。

1 日常生活において節電等の省エネに努める。

すでに行っており、今後も引き続き行いたいと思う	969 (89.0%)
すでに行っているが、今後はあまり行いたいとは思わない	29 (2.7%)
これまでに行ったことはないが、今後は行いたいと思う	70 (6.4%)
これまでに行ったことはなく、今後は行いたいとは思わない	12 (1.1%)
無回答	9 (0.8%)

2 日常生活においてできるだけごみを出さないようにする。

すでに行っており、今後も引き続き行いたいと思う	813 (74.7%)
すでに行っているが、今後はあまり行いたいとは思わない	35 (3.2%)
これまでに行ったことはないが、今後は行いたいと思う	195 (17.9%)
これまでに行ったことはなく、今後は行いたいとは思わない	22 (2.0%)
無回答	24 (2.2%)

- 3 不用品をバザー、フリーマーケット、ガレージセール等のリユース、リサイクルにまわす。
- | | |
|-----------------------------|-------------|
| すでに行っており、今後も引き続き行いたいと思う | 467 (42.9%) |
| すでに行っているが、今後はあまり行いたいとは思わない | 44 (4.0%) |
| これまでに行ったことはないが、今後は行いたいと思う | 377 (34.6%) |
| これまでに行ったことはなく、今後も行いたいとは思わない | 175 (16.1%) |
| 無回答 | 26 (2.4%) |
- 4 ごみは地域のルールに従ってきちんと分別して出すようにする。
- | | |
|-----------------------------|--------------|
| すでに行っており、今後も引き続き行いたいと思う | 1027 (94.3%) |
| すでに行っているが、今後はあまり行いたいとは思わない | 25 (2.3%) |
| これまでに行ったことはないが、今後は行いたいと思う | 18 (1.6%) |
| これまでに行ったことはなく、今後も行いたいとは思わない | 4 (0.4%) |
| 無回答 | 15 (1.4%) |
- 5 物・サービスを購入するときは環境への影響を考慮してから選択する。
- | | |
|-----------------------------|-------------|
| すでに行っており、今後も引き続き行いたいと思う | 507 (46.6%) |
| すでに行っているが、今後はあまり行いたいとは思わない | 32 (2.9%) |
| これまでに行ったことはないが、今後は行いたいと思う | 459 (42.2%) |
| これまでに行ったことはなく、今後も行いたいとは思わない | 65 (6.0%) |
| 無回答 | 26 (2.4%) |
- 6 地域における環境保全のための取組に参加する（緑化、美化、自然保護、リサイクル、省エネ、地域の計画策定等）。
- | | |
|-----------------------------|-------------|
| すでに行っており、今後も引き続き行いたいと思う | 359 (33.0%) |
| すでに行っているが、今後はあまり行いたいとは思わない | 38 (3.5%) |
| これまでに行ったことはないが、今後は行いたいと思う | 455 (41.7%) |
| これまでに行ったことはなく、今後も行いたいとは思わない | 208 (19.1%) |
| 無回答 | 29 (2.7%) |
- 7 体験型（※）の環境教育・環境学習活動に参加する。
- （※）体験型の環境教育・環境学習活動とは、たとえば、自然観察会や水質調査、河川・砂浜・地域の美化・清掃活動、植林活動など、環境やその問題に関する体験活動や調査活動などの具体的な実践をいいます。なお、講習や勉強会などの座学のみのは含みません。
- | | |
|-----------------------------|-------------|
| すでに行っており、今後も引き続き行いたいと思う | 82 (7.5%) |
| すでに行っているが、今後はあまり行いたいとは思わない | 37 (3.4%) |
| これまでに行ったことはないが、今後は行いたいと思う | 446 (41.0%) |
| これまでに行ったことはなく、今後も行いたいとは思わない | 485 (44.5%) |
| 無回答 | 39 (3.6%) |
- 8 講習会等で得た環境保全に関することを実践する。
- | | |
|-----------------------------|-------------|
| すでに行っており、今後も引き続き行いたいと思う | 161 (14.8%) |
| すでに行っているが、今後はあまり行いたいとは思わない | 16 (1.5%) |
| これまでに行ったことはないが、今後は行いたいと思う | 604 (55.4%) |
| これまでに行ったことはなく、今後も行いたいとは思わない | 248 (22.8%) |
| 無回答 | 60 (5.5%) |

9 環境に対してよいと思うことを知人や友人に伝えたり広めたりする。

すでに行っており、今後も引き続き行いたいと思う	303 (27.8%)
すでに行っているが、今後はあまり行いたいとは思わない	24 (2.2%)
これまでに行ったことはないが、今後は行いたいと思う	500 (45.9%)
これまでに行ったことはなく、今後も行いたいとは思わない	232 (21.3%)
無回答	30 (2.8%)

Q11. 生駒市では、循環型社会、低炭素社会の構築により持続可能な社会を実現するために、平成23年度から32年度までの10年間でごみの焼却量を半減させるという「ごみ半減プラン」を今年の5月に策定しました。あなたは「ごみ半減プラン」を知っていますか。

1 内容までよく知っている	56 (5.1%)
2 内容を少し知っている	288 (26.5%)
3 名前は聞いたことがある	306 (28.1%)
4 まったく知らない	346 (31.8%)
5 無回答	93 (8.5%)

Q12. 家庭系ごみの減量・資源化を進めるにあたっての施策について、それぞれ、どの程度効果的と思いますか？

1 “もったいない運動”を展開し、ごみを出す人の意識を変え、発生抑制を促す

非常に効果的と思う	302 (27.7%)
やや効果的と思う	472 (43.3%)
あまり効果的と思わない	156 (14.3%)
効果的と思わない	41 (3.8%)
どちらとも言えない	57 (5.2%)
無回答	61 (5.6%)

2 プラスチック製容器包装の分別収集を行う

非常に効果的と思う	416 (38.2%)
やや効果的と思う	414 (38.0%)
あまり効果的と思わない	115 (10.6%)
効果的と思わない	54 (5.0%)
どちらとも言えない	36 (3.3%)
無回答	54 (5.0%)

3 集団資源回収の活性化、紙ごみの分別収集など、紙類の資源化に取り組む

非常に効果的と思う	523 (48.0%)
やや効果的と思う	398 (36.5%)
あまり効果的と思わない	69 (6.3%)
効果的と思わない	22 (2.0%)
どちらとも言えない	24 (2.2%)
無回答	53 (4.9%)

4 家庭系ごみ処理の有料制を導入する

非常に効果的と思う	118 (10.8%)
やや効果的と思う	264 (24.2%)
あまり効果的と思わない	214 (19.7%)
効果的と思わない	303 (27.8%)
どちらとも言えない	133 (12.2%)
無回答	57 (5.2%)

5 バイオマス（生ごみ・剪定枝等）の資源化に取り組む

非常に効果的と思う	280 (25.7%)
やや効果的と思う	458 (42.1%)
あまり効果的と思わない	125 (11.5%)
効果的と思わない	52 (4.8%)
どちらとも言えない	108 (9.9%)
無回答	66 (6.1%)

Q13. 有料制になった場合、あなたの世帯では、いくらくらいまで1か月に負担してもいいと思いますか。

1 1,000円以上	11 (1.0%)
2 500円～1,000円	105 (9.6%)
3 300円～500円	266 (24.4%)
4 300円以下	281 (25.8%)
5 少しでも負担したくない	357 (32.8%)
6 無回答	69 (6.3%)

Q14. 一般的に、1か月の負担がいくらくらいになれば、ごみの減量に取り組む人が増えると思いますか。

1 1,000円以上	177 (16.3%)
2 500円～1,000円	210 (19.3%)
3 300円～500円	141 (12.9%)
4 300円以下	154 (14.1%)
5 いくらであっても変わらない	321 (29.5%)
6 無回答	86 (7.9%)

Q15. あなたの世帯では、1か月の負担がいくらくらいになれば、今よりごみの減量に取り組もうと思いますか。

1 1,000円以上	82 (7.5%)
2 500円～1,000円	155 (14.2%)
3 300円～500円	165 (15.2%)
4 300円以下	190 (17.4%)
5 いくらであっても変わらない	408 (37.5%)
6 無回答	89 (8.2%)